

ここはタイの首都バンコクから約115km北にあるロブリー県内にあるお寺です.

エイズ寺とよばれています.

エイズの患者さんたちが集まっています。



กระดุกผู้ป่วยโรคเอดส์ ตั้งแต่ปี พ.ศ. 2535 - ปัจจุบัน

「このお寺の仏像の前にある袋は
何だろう？」

「お骨です。」

緑のパネルには「西暦1992年(仏暦2535年)から現在までのエイズにかかった人たちの遺骨」と書かれています。

遺骨は別の場所にもあります。

「なぜ、お墓にいれないの？」

「引き取る家族がいないお骨だから。」

「家族がエイズにかかった人を捨てる場所
がここなんだよ。」

日本人も家族がエイズになったら、
捨てるの？」とタイ人の同僚は言った。

「捨てる？ かあ」

「エイズってどんな病気か知ってる？」

「あなたは友だちがエイズにかかったら、
友だちをやめる？」

うつる病気だよ.

家族がエイズにかかったら、
あなたは学校に行けるかな？」



「これは何？」

「火葬場だよ.いくつある？」

「毎日5人位は亡くなるから必要だよ.」

「お金があれば、エイズの発症をおさえる薬を
買えるけど.

死ぬしかないよ.

買えるならこのお寺に来ないよ.」

エイズによる死者は

全世界で年に2,900,000人

国民の3人に1人がエイズに感染している国
もあるんだって。

「日本人はエイズ感染者を見捨てるの？」